

平成30年度

第1回 みみらんどセミナー

「補聴器・人工内耳のよさを活かした使い方と配慮点」



- ☆ 実施日時 ☆ 平成30年5月10日（木） 13:15～14:30
- ☆ テーマ ☆ 「補聴器・人工内耳のよさを活かした使い方と配慮点」
- ☆ 講師 ☆ (株)GNヒアリングジャパン 言語聴覚士 佐藤 由希恵 様



「補聴器について」

耳かけ型、耳あな型、ポケット型、眼鏡型等の種類があり、それぞれに長所短所がある。デジタル信号処理技術が向上し、雑音やハウリングを抑制したり、状況に応じて最適な利得を得たりすることができるようになった。

「人工内耳について」



- ①体外部：頭に付ける部分
 - ②体内部：手術により埋め込む部分
- 音声を変換し、脳に伝える仕組み。防水機能が向上し、機種によっては、スプリンクラーや雨の中でも大丈夫なものも。さらに、アクアというアクセサリを使うことで防水性を向上できる。

「人工内耳をしている≠全ての音が聞こえる」

人工内耳を通した音は電氣的に処理されたものなので、100%正確ではない。

【聞き取りにくい環境】

- ・はっきりしない言葉
- ・雑音の中
- ・話し相手との距離が離れたとき
- ・複数の人との会話
- ・横や後ろから話されたとき
- ・早口
- ・テレビ、ラジオ、電話等、校内放送のスピーカーを通す音



「子ども達への支援」

お風呂やプール等で補聴器や人工内耳を外すと、まったく聞こえないので、事前に話の内容を伝えたり、紙やホワイトボードに書いたりするなどして伝えるようにする。



～参加者の声～

- ・乳幼児健診等で補聴器や人工内耳をしている子には、目を見て話すことの配慮を学ぶ事が出来ました。
- ・マルチマイクを使った聞こえを体験し、その聞こえのクリアさに驚いた。
- ・セミナーには毎年参加し、今回も新しい発見があり楽しく参加できた。



※次回のみみらんどセミナーは6/28（木）「きこえにくい子ども達の理解と支援」
医師：馬場陽子先生（ばばクリニック）にお話を伺います。ぜひご参加ください。